

平成 24 年度中・高校生海外研修事業



貴重な体験 成果報告 研修



4月4日、オーストラリアを訪れていた中・高校生18人が役場で研修の成果を報告しました。報告会では、副団長を務めた竹島烈士さん（江陵高）が「食文化や生活習慣など日本との違いを体験でき視野が広がった」とあいさつ。報告を受けた岡田町長は「皆さん大きくなって帰ってきたように感じる。この経験をこれからの人生に生かしてほしい」と話しました。



課外授業などが行われ、研修生らは、国

滞在3・4日目

滞
在
2
日
目
この日からメルローズハイスクールでの体験授業がスタート。歓迎集会が開かれ、全員で練習してきた「よさこい」を披露しました。調理実習では、カンガルーの肉を使ったハンバーガーを作り、初めての味に舌鼓を打ちました。



海外研修派遣事業は、国際的な視野を広げることなどを目的に20年前から実施されています。今年には中学生16人と高校生2人が派遣され、3月23日～3月31日、キャンベラ市でホームステイをしながら、現地の高校での体験授業や施設見学などに臨みました。

滞
在
1
日
目
研修生たちは、シドニー市でオペラハウスの見学やマンリーオーシャンビーチでの海水浴などを体験しました。その後は、約4時間かけてキャンベラ市にあるメルローズハイスクールに到着。期待に胸を膨らませ、ホームステイが始まりました。



①歓迎集会でよさこいを披露 ②調理実習ではカンガルーの肉を使ったハンバーガー作りに挑戦 ③メルローズハイスクールの生徒たちと校門の前で記念撮影

立動物園を見学。野生のカンガルーやエミューを見つけると、夢中になってカメラのシャッターを押していました。夜にホストファミリーとさよならパーティーが開かれました。研修生はお世話になった感謝の気持ちを英語でスピーチし、みんなで過ごす最後の夜を満喫しました。

滞在5・6日目 ホストファミリーと別れた後、メルボルン市に移動しました。

ビクトリア州議事堂やセントパトリック大聖堂などの歴史ある建造物を見学しました。(翌日帰国)

研修生から一言感想



川瀬諒大(札内中)
オペラハウスは、信じられないくらいきれいで、都会的なデザインだった。



橋本桃佳(糠内中)
オーストラリアに住みたいと思うほど楽しく、多くのことを学んだ。



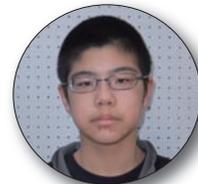
間鍋彩(幕別中)
朝食はヘルシーで夕食は量が多く、その量の差に慣れるのが大変だった。



辻本ひらり(幕別中)
オーストラリアではアボリジニなど伝統を大切にしていることがわかった。



對馬雪乃(幕別中)
日本との違いを実際に見て学ぶことができ、とても良い経験になった。



岡田桐和(幕別中)
ホストファミリーらと交流を深められたことは、とても貴重な経験になった。



伊藤駿(札東中)
マンリービーチは、砂の色や海の色がとてもきれいで、感動した。



菅原梨沙(札内中)
漢字を教えると「カッコイイ」と言われ、日本の文化を誇りに思った。



永山凜(札内中)
山の上から一望したキャンベラの夜景は、心に残る素晴らしいものだった。



辻拓朗(札内中)
バーベキューの時、お肉がほとんど生の状態で出てきたので戸惑った。



阿部柚生(札内中)
うまく言葉が伝わらなくても、伝えようと挑戦することが大切だと学んだ。



高石菜々花(札内中)
野生のカンガルーを見たのは初めてだったので、すごく嬉しかった。



竹島烈士(江陵高)
全てが大きく、牛乳のサイズが3リットルで普通だと言われ驚いた。



後藤彩乃(江陵高)
夕食で、私の為にお米を用意してくれたのはとても嬉しかった。



竹田知世(忠類中)
初めての海外でも興奮した。空気の匂いや雰囲気の違いを感じた。



グリーンハウ・りお・レジーナ(忠類中)
全力で生きること！という新たな価値観に気づいた。



本間はる菜(札東中)
この研修で、成長したように思う。父と母、行かせてくれてありがとう。



伊藤菜緒(札東中)
オーストラリアのショッピングモールで買い物をしたことが一番楽しかった。